

# 河相三郎

かわい・さぶろう

衆議院議員

## 経歴

生:安政6年(1859年)5月、備後国福山今町生まれ

没:昭和17年(1942年)、享年84歳、千田・河相家墓地に葬る

明治10年(1877年)	18歳	千田村会議員
—	—	深安郡会議員
明治18年(1885年)	26歳	広島県会議員
—	—	福山郵便局長、福山郵便電信局長
明治22年(1889年)	30歳	福山町会議員
大正5年(1916年)9月1日	57歳	福山市会議員、福山市会議長
大正9年(1920年)5月～ 大正13年(1924年)	61歳	衆議院議員
大正13年(1924年)	65歳	福山市会議員、福山市会議長
昭和3年(1928年)	69歳	政界を引退
—	—	家業の醤油醸造業を営む
—	—	福山製綿会社長、福山魚鳥会社長、福山入江浚渫会社長、両備鉄道社長
—	—	福山倉庫、福山銀行、福山紡績、鞆鉄道などの取締役

## 生い立ちと学業、業績

安政6年(1859年)、備後国福山今町に生れ、香風と号す。

19歳で千田村会議員に当選、次で郡会議員となり明治18年(1885年)広島県会議員、又福山郵便局長、次で福山郵便電信局長を歴任。

町村制実施に伴う、明治22年(1889年)の第1回の福山町会議員から累選。  
大正5年(1916年)の市制施行に尽瘁、その実現を見るや初代市会議員に選ばれ議長に推

された。

大正9年(1920年)福山市が独立選挙区となるや同年5月執行の総選挙で衆議院議員となり、大正13年(1924年)満期となり市会議員に帰り咲き再び議長となった。  
昭和3年(1928年)政界を退く。

傍ら家業の醤油醸造業を営む外、福山製綿会社長、福山魚鳥会社長、福山入江浚渫会社社長、福山倉庫、福山銀行、福山紡績等各社の取締役、靱鉄道取締役、両備鉄道社長等を兼ね、その中でも両備鉄道は創立から政府買収まで10数年間社長として経営に当り、好成績を挙げた。

嫡男の河相寿太郎氏もよく父三郎を援けた。

鉄道の買収が完了した前後福山市内バス会社を創立し社長となったが、時恰も戦時中物資不足時代で必ずしも業績はよくなかったが、前記福山魚鳥会社、現在の福山水産市場とは一生を終えるまで面倒を見ていた。

余技に彩管(絵筆)を揮うを楽しみとし、蘭は最も得意とする処であった。

かくて昭和17年(1942年)82歳の高齢で多彩な生涯の幕を閉じた。

松寿院常華香風居士と諡名、千田の河相家墓地に葬る。

福山市は多年の功勞に対し、市会の決議をもって特別祭祀料を贈った。(出典1)(出典3)

誠之館出身の大臣(井上角五郎、河相三郎、森戸辰男、重政誠之、高橋等)(出典2)

出典1:『備後先覚者名鑑(郷土を創った人々)』、6頁、村田露月・式見静夫編、備後文化出版社刊、昭和35年6月

出典2:『懐古ー誠之館時代の思い出ー』、34頁、「福山中学の思い出」、藤井猛、福山誠之館同窓会編刊、昭和58年5月15日

出典3:『政治産業文化備後総合名鑑』、39頁、式見静夫編、備後文化出版社刊、昭和34年9月

出典4:『備後備中先覚者名鑑 郷土を創った人々(上巻)』、式見静夫編、備後文化出版社刊、昭和36年8月

出典5:『今昔物語 福山の歴史(下巻)』、22・33頁、村上正名著、歴史図書社刊、昭和53年12月15日

出典6:『中国新聞(大正13年8月27日号)』、3頁、「福山市会議員候補月旦 一級候補河相三郎君」、中国新聞社編刊、大正13年8月27日

2006年8月11日追加●2007年11月30日更新:経歴・本文●2008年2月4日更新:経歴・本文●2008年11月19日更新:経歴・本文・出典●2009年6月30日更新:経歴●